

# 第1回 地域コミュニティ・PTA 部会 会議報告

日 時:令和7年2月13日(木) 午後7時~8時30分

場 所:川岸小学校 2階 ふれあい教室

## ○次 第

- 1.開会
- 2.自己紹介
- 3.川岸学園構想について
- 4.部会の役割と会議の進め方について
- 5.閉会

## ○部会で確認した内容

- ・川岸学園構想の概要について
- ・本部会の役割と会議の進め方について
- ・小中学校のPTAで話し合い、次回の部会で意見を出し合う

## ○部会で出された主な意見

### 【PTA について】

- ・概要しか決まっておらず、川岸学園がどういう方向に進んでいくかという方向性がまだ出てないため、その方向性を十分に認識した上で話をしていきたい。
- ・他の部会でも議事録を残していただけると思うので、その議事録を共有していただきたい。⇒次回部会にて配布
- ・在籍中の児童・生徒の保護者や地域住民の方へ学校の規則や会則等の周知の方法、意見の集約は課題になる。
- ・意見が集まったところで、次回以降の部会で話し合いをしていきたい。
- ・自分がこんな学校にしたいという意見をそれぞれ皆さんで出しあって、その上で決めていくというのが部会の役割ではないか。
- ・きっちりした形ではできていないので、この部会でいろいろな意見を出しあって結論を出していけばよい。
- ・何月頃までに結論を出していかなければいけないのか。  
⇒令和9年4月の開校までに間に合わせていきたい。
- ・校長先生や教頭先生が各担任の意見を集約して定例会で出している。
- ・次回に向け、PTA組織をどうするかフォーカスして小中学校のPTAの役割を確認して、これなら減らせる、これは切れるなど、踏み込んで進めて、デザインの方向性が出てきたときにこれは残したほうが良いねという形で話し合いを進めていくのが建設的だと思う。
- ・わからなくてもスタートを切ったほうがいい。第2回に向けてどう動いていったらいいか示してもらえると動きやすい。
- ・保護者への周知がすごく難しいため、部会でたたき台を作成し、それを提示し

て出た意見を取り入れていく方法が動きやすい。すべて1から作るというのは困難。

⇒川岸学園NEWSを保護者や川岸地区の各戸に回覧しているため、周知の方法はある。PTAがこのような形になりますと提示して、そこで意見集約していくことは可能。

・現行のPTA理事で話し合いをして、おおまかな方向性を決めていくほうがいい。小中学校一緒に話し合いをしてもいい。

⇒その話し合いに教育委員会も同席可能。それぞれの会則を確認していただき、教育委員会で必要な資料の取り寄せをすることも可能。

・小中学校の健全育成の会が開かれたときに、全体会の後、各地域に分かれて地域の方たちでPTAをどうしていきたいかをホワイトボードにまとめた。その資料をいただければ、話し合いのきっかけにもなると思う。

・今日何か1つ決めるとすれば、今の小中学校のPTAで会合を行い、PTA役員の意見を拾うということだと思う。

・小学校、中学校合同で会合を実施する。

・県内の公立義務教育学校の連合会はどのような形に入っているのか。また教えていただきたい。

#### 〈国型コミュニティ・スクールについて〉

・国型コミュニティ・スクールについて、コミュニティ・スクールを立ち上げる必要があるのか。これはPTA組織とは別のものなのか、ある程度兼ねる部分があるのか、見通しが持てない。

⇒国型コミュニティ・スクールについては、南信教育事務所で導入支援を行っていることから講師を呼んで、部会で勉強会を開催することは可能。

⇒学校評議員は学校長が推薦、教育委員会が委嘱し、学校運営に対して意見ができる。国型コミュニティ・スクールとの一番の違いは、先生方の人事に関する意見ができるところ。

⇒学校評議員制度からコミュニティ・スクールに移行していきたい。実際、県内でも国型への移行が進んでいるが、やり方は様々なので、探りながら川岸ではどういった形にしていくかを一緒に検討していただきたい。

⇒大きな違いは人事かもしれないが、そこはあくまで1つであって、川岸学園なりのコミュニティの捉え方、地域とPTAと学校の連携を目指して新しいものを作っていけば良い。PTCAにするのか、PTAにするのか、別にするのか、これから新たなものを作っていけばいい。まず、それぞれの意見を吸い上げて、どうしていきたいかを決めていくのが良い。

⇒本日の会議で話し合った内容をそれぞれ持ち帰っていただき、広めていただくことも大事だが、部会には代表として参加いただいているので、地域もしくは保護者の代弁をするというところがあるので、最終的には、このメンバーで方向性を出していければいいと考えている。(市教委)

### 〈その他の意見〉

- ・障がいがあるなしに関わらず、川岸に住んでいる子たちはみんな川岸学園に通えるということが一番素敵なこと。
- ・ハード面のことになるが、設計で今の段階で方向性が決まっていなければ、開校に間に合わないと思う。
- ・設計には、先生方の意見はどのくらい取り入れられているのか。
- ・他の部会も同時進行で進んでいるなら、一度、暫定的に意見を出してすり合わせていかないと待っていても進まない。

### ○次回の部会での検討事項

- ・小中学校のPTAで話し合い、次回の部会で意見を出し合う
- ・県内の義務教育学校の連合会の入り方

### ○次回の日程について

- ・4月23日(水) 午後6時30分 開催予定  
川岸小学校 2階 ふれあい教室